

業績の推移

(単位：千円)

区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受注高	2,004,030	1,335,479	1,967,639
税引前利益	157,367	161,232	231,697
当期利益	101,841	114,568	149,526

当期における建設業界の発注・受注の環境は、震災復興関係に依存する事業がほぼ完遂となり、防災・減災等国土強靱化事業に関連する事業予算に期待するところではあります。

当社の売上高においては、前年同期より632,160(千円)増の1,967,639(千円)となりました。

売上増に推移した要因として、工事件数は少ないものの1件あたりの平均完成金額が多くなったことによります。

来期以降は、今期にも増して当社の得意とする公共道路工事並びに河川関連工事の案件や予算縮小に伴うことや、雇用労働者の高齢化は否定できず厳しさを増すばかりと想定します。

今後は、これまで以上に経費等の固定費削減に更に努め、公共事業のみならず民間工事にも営業注力し、長く地元貢献に寄与し続けられるよう役職員以下更に努力して参ります。